

授 業 科 目	必・選	学 年	学 科 (組) 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
応用英語 III Applied English III	選 択	2 年	生 産 ----- 環 境	小 林 貢	2	前 期 週 2 時 間 (合 計 30 時 間)	前 期 週 2 時 間 (合 計 60 時 間)
[教 材] 教 科 書 : 「 TOEIC テ ス ト 公 式 問 題 集 新 形 式 問 題 対 応 編 」 Educational Testing Service 補 助 教 材 : 「 ALC NetAcademy2 」 アルク 教 育 社							
[授 業 の 概 要] 産 業 社 会 に お け る グ ロ ー バ ル 化 に 対 応 す る た め 、 国 際 的 に 通 用 す る プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 能 力 を 修 得 す る た め の 英 語 に よ る コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン に 必 要 な 基 本 的 能 力 を 身 に つ け る 。 TOEIC テ ス ト 400 点 相 当 取 得 に 必 要 な 英 語 力 を 身 に つ け る 。							
[授 業 の 進 め 方] 演 習 形 式 で 行 い 、 E-Learning は 課 題 及 び 小 テ ス ト に 使 用 す る 。 尚 、 試 験 結 果 が 合 格 点 に 達 し な い 場 合 、 再 試 験 を 行 う こ と が あ る 。							
[授 業 内 容]							
授 業 項 目	時 間	内 容					
授 業 ガ イ ダ ン ス	1	授 業 の 進 め 方 と 評 価 の 仕 方 に つ い て 説 明 す る 。					
「 ALC NetAcademy2 ス ー パ ー ス タ ン ダ ー ド コ ー ス 」 (E-Learning) レ ベ ル 別							
リスニング : Unit 41 ~ 50	1	TOEIC の 問 題 性 質 を 理 解 し 、 リ ス ニ ン グ の 各 パ ー ト に 対 す る ト レ ー ニ ン グ 法 が わ か る 。 課 題 を 解 け る 。					
リーディング : Unit 41 ~ 50	1	大 量 の 情 報 か ら 、 必 要 な 情 報 を 選 び 出 す こ と が で き る 。 英 文 を 速 読 す る こ と が で き る 。 課 題 を 解 け る 。					
「 ALC NetAcademy2 TOEIC テ ス ト 演 習 2000 コ ー ス 」 (E-Learning)	2	小 テ ス ト を 解 く こ と が で き る 。 小 テ ス ト は 適 宜 行 う 。					
TOEIC テ ス ト 公 式 問 題 集 新 形 式 問 題 対 応 編							
LISTENING SECTION Part I , Part II	5	LISTENING SECTION を 正 確 に 聞 き 取 る 力 を 身 に つ け る 。					
LISTENING SECTION Part III , Part IV	6	LISTENING SECTION を 正 確 に 聞 き 取 る 力 を 身 に つ け る 。					
READING SECTION Part V , Part VI	6	READING SECTION を 正 確 に 読 み 取 る 力 を 身 に つ け る 。					
READING SECTION Part VII	6	READING SECTION を 正 確 に 読 み 取 る 力 を 身 に つ け る 。					
到達度試験	2	上 記 項 目 に つ い て 学 習 し た 内 容 の 理 解 度 を 確 認 す る 。					
試験の解説と解答	2	到 達 度 試 験 の 解 説 と 解 答 、 本 授 業 の ま と め 、 授 業 ア ン ケ ー ト					

<p>[到達目標]</p> <p>1. 産業社会におけるグローバル化に対応するため、国際的に通用するプレゼンテーション能力を修得するための英語によるコミュニケーションに必要な基本的能力を身につける。そのために英文を正確に聞き取る力と読み取る力を身につける。</p> <p>2. TOEIC テスト400点相当取得に必要な英語力を身につける。</p>					
<p>[評価方法]</p> <p>合格点は60点である。学年総合成績は、到達度試験（後期試験）結果を試験結果100%で評価する。校内実施のTOEIC IPテストおよび公開テストの受験者が定期試験の成績を上回るスコアを獲得した場合はその成績を評価点とする。本授業開講期間中、上記IPテスト、公開テスト、TOEIC形式の定期試験、TOEIC形式の再試験で一度も400点相当を超えない場合は単位を認めない。</p>					
<p>[認証評価関連科目] (英語Ⅰ), (英語LL演習), (英語Ⅱ), (英語会話), (英語Ⅲ), (総合英語Ⅰ), (総合英語Ⅱ), (上級英語), (工業英語), 応用英語Ⅰ・Ⅱ</p>					
<p>[J A B E E 関連科目] (総合英語Ⅰ)、(総合英語Ⅱ)、(上級英語)、(工業英語)、応用英語Ⅰ・Ⅱ</p>					
<p>[学習上の注意] 英文を正確に聞き取る力、読み取る力及び英語コミュニケーション能力を向上させるために、授業への準備を欠かさないこと。また、学習の過程で疑問が生じた時には積極的に辞書、参考書等を参照し解決するよう努め、確実に理解すること。</p>					
達成しようとしている基本的な成果	(2)	秋田高専学習・教育目標	D-2	J A B E E 基準	a, f

授業科目	必・選	学年	学科(組) 専攻	担当教員	単位数	授業時間	自学自習時間																														
事業経営論 Theory of Business and Management	選択	2年	生産環境	吉葉恭行 長井栄二	2	前期週2時間 (合計30時間)	前期週4時間 (合計60時間)																														
<p>[教材]</p> <p>参考書:『これでわかった バランス・シート』金児昭 PHP 『MOT(マネジメント・オブ・テクノロジー)入門』早稲田大学ビジネススクール著 日本能率協会マネジメントセンター</p> <p>その他:自製プリントの配布</p>																																					
<p>[授業の概要]</p> <p>企業においてもの作りを実現するための基礎知識として、生産性やコストの考え方、技術開発から製品化にいたるまでの技術経営に関する知識を修得する。</p>																																					
<p>[授業の進め方]</p> <p>講義形式を基本とするが、適宜グループ・ディスカッションや、課題報告を実施する。 試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。</p>																																					
<p>[授業内容]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業項目</th> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業ガイダンス</td> <td>1</td> <td>授業の進め方と評価の仕方について説明する。</td> </tr> <tr> <td>1 株式会社のしくみ</td> <td>3</td> <td>株式会社のしくみを理解できる。</td> </tr> <tr> <td>2 経営組織</td> <td>2</td> <td>経営組織の基本を理解できる。</td> </tr> <tr> <td>3 企業会計</td> <td>2</td> <td>企業会計のしくみを理解できる。</td> </tr> <tr> <td>4 財務諸表</td> <td>4</td> <td>財務諸表を理解し、財務分析ができる。</td> </tr> <tr> <td>5 マーケティングと技術開発</td> <td>10</td> <td>製品開発の具体的手順を理解でき、シミュレーションできる。</td> </tr> <tr> <td>6 ケーススタディ:ヨーロッパの企業</td> <td>4</td> <td>企業具体例から、その特徴を理解できる。</td> </tr> <tr> <td>到達度試験(後期末)</td> <td>2</td> <td>上記項目について学習した内容の理解度を確認する。</td> </tr> <tr> <td>試験の解説と解答、授業アンケート</td> <td>2</td> <td>到達度試験の解説と解答、本授業のまとめ、および授業アンケート</td> </tr> </tbody> </table>								授業項目	時間	内容	授業ガイダンス	1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。	1 株式会社のしくみ	3	株式会社のしくみを理解できる。	2 経営組織	2	経営組織の基本を理解できる。	3 企業会計	2	企業会計のしくみを理解できる。	4 財務諸表	4	財務諸表を理解し、財務分析ができる。	5 マーケティングと技術開発	10	製品開発の具体的手順を理解でき、シミュレーションできる。	6 ケーススタディ:ヨーロッパの企業	4	企業具体例から、その特徴を理解できる。	到達度試験(後期末)	2	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。	試験の解説と解答、授業アンケート	2	到達度試験の解説と解答、本授業のまとめ、および授業アンケート
授業項目	時間	内容																																			
授業ガイダンス	1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。																																			
1 株式会社のしくみ	3	株式会社のしくみを理解できる。																																			
2 経営組織	2	経営組織の基本を理解できる。																																			
3 企業会計	2	企業会計のしくみを理解できる。																																			
4 財務諸表	4	財務諸表を理解し、財務分析ができる。																																			
5 マーケティングと技術開発	10	製品開発の具体的手順を理解でき、シミュレーションできる。																																			
6 ケーススタディ:ヨーロッパの企業	4	企業具体例から、その特徴を理解できる。																																			
到達度試験(後期末)	2	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。																																			
試験の解説と解答、授業アンケート	2	到達度試験の解説と解答、本授業のまとめ、および授業アンケート																																			
<p>[到達目標]</p> <p>製品化、すなわち企業においてもの作りを実現するプロセスを理解することが目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 株式会社のしくみや経営組織の基本を理解できる。 2. 企業会計のしくみや財務諸表を理解できる。 3. 製品開発の具体的手順を理解し、シミュレーションができる。 4. 企業具体事例からその特徴を理解できる。 																																					
<p>[評価方法]</p> <p>合格点は60点である。</p> <p>成績は、下記[評価割合]の通り、到達度試験結果を60%、課題レポートと課題プレゼンテーション等を40%で評価する。課題未提出者は単位取得が困難となるのでとくに注意すること。</p> <p>総合評価=到達度試験(前期末)×60%+40%(課題・プレゼンテーション等)</p>																																					
<p>[認証評価関連科目]</p> <p>(現代社会)、(人類史Ⅰ・Ⅱ)、(科学技術史)、(科学技術社会史)、(技術者倫理)、社会経済史</p>																																					
<p>[JABEE関連科目]</p> <p>(技術者倫理)、(電気法規)</p>																																					
<p>[学習上の注意]</p> <p>授業中は板書を書き取るだけでなく、口頭による説明についても各自メモを取る習慣を身に付ける必要がある。復習をしっかり行い、参考文献等にも目を通すこと。組織や会計、技術経営に関する資料の読み取り方の基本を身に付けること。複数のメディアを通じて多くの情報に触れておくこと。</p>																																					
達成しようとしている基本的な成果	(2)	秋田高専学習・教育目標	A-2 C-3	JABEE基準	a, b																																